

研究課題名

血液透析患者における腹部脂肪が生命予後に与える影響について

研究責任者の氏名

矢島 隆宏

研究の概要

高度肥満の多い海外では、透析患者において肥満であるほど生命予後が良いとされる、いわゆる「肥満パラドックス」が一般的に報告されています。しかし、高度肥満の少ない日本人において、特に透析患者さんにおいて同様の事象が当てはまるか否か十分には検討がなされてはならず、検証に値します。

当院にて2005年1月1日から2015年12月31日までの間に当院にて外来維持透析を施行した患者さんのうち、カルテ情報に基づき、定期検査にて腹部単純CTで腹部脂肪（臍部レベルの内臓脂肪、皮下脂肪）を測定し得た患者さんを対象とします。腹部脂肪とその後の生命予後について検討します。

本研究においては、該当する患者さんに関わる情報について、インターネットに接続していないコンピュータにて誰のものかわからない状態にした上で統計解析します。電子データは5年間保存の後消去します。

研究の成果に関しては、学会発表や論文投稿する予定です。

利用する情報の項目

いずれも電子カルテから収集します。年齢、性別、既往歴、身長、体重、透析前後に施行された定期の血液検査データ、腹部単純CTにて計測された内臓脂肪と皮下脂肪を検討の対象とします。

利用するものの範囲

医師：矢島 隆宏

連絡先

松波総合病院 腎臓内科

医長 矢島隆宏

TEL: 058-388-0111

FAX: 058-388-4711